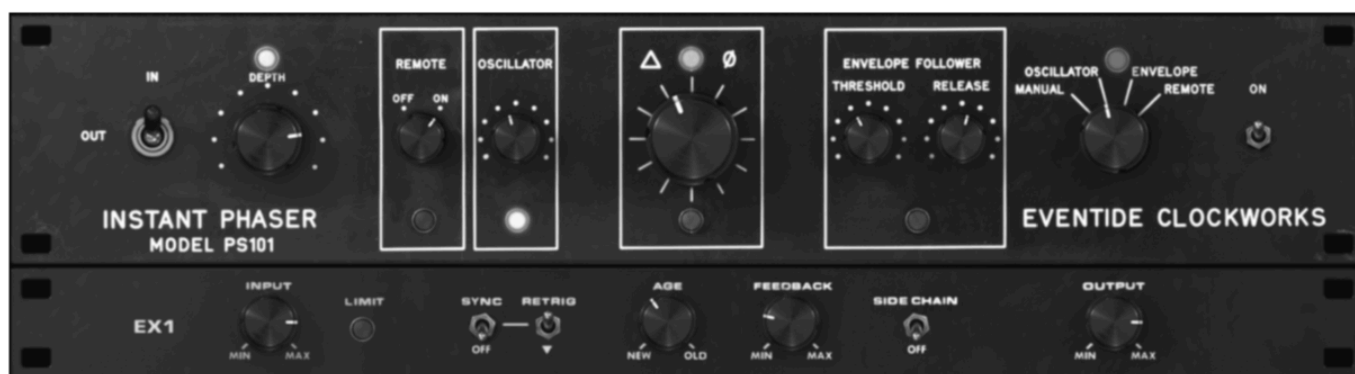




# INSTANT PHASER MK II



## INSTRUCTION MANUAL

Copyright, Eventide Inc. Eventide は、Eventide Inc. の登録商標です。AAX および Pro Tools は、Avid Technology の商標です。名前とロゴは許可を得て使用されています。Audio Units および macOS は、Apple, Inc. の商標です。VST は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。ここに含まれる他のすべての商標は、それぞれの所有者の財産です。不許複製・禁無断転載。

日本国内に於けるライセンスはタックシステム株式会社が保有しています。

タックシステム株式会社の承諾なしに本マニュアルのコピー、再販を禁じます。 Printed by TAC SYSTEM, Inc. 20191008 Sawako Inoue

**TAC System Inc.**  
TAC 管理番号 : T1-10050

# 目次

---

|                                    |          |
|------------------------------------|----------|
| <b>1 はじめに</b>                      | <b>1</b> |
| 1.1 この製品について                       | 1        |
| 1.2 このマニュアルについて                    | 1        |
| <b>2 Instant Phaser Mk II について</b> | <b>3</b> |
| 2.1 Instant Phaser                 | 3        |
| 2.2 フェイジングとは                       | 3        |
| 2.3 単なるフェイザーではありません                | 4        |
| Depth (デプス) は Mix (ミックス) です！       | 4        |
| ステレオライザー                           | 4        |
| モジュレーション・ソース                       | 4        |
| AGE (エイジ)                          | 5        |
| 2.4 操作の概要                          | 5        |
| 2.5 メイン・パネル                        | 6        |
| In/Out (イン/アウト)                    | 6        |
| Depth (デプス)                        | 6        |
| Remote (リモート)                      | 6        |
| Oscillator (オシレーター)                | 6        |
| Manual Knob (マニュアル・ノブ)             | 6        |
| Threshold (スレッシュホールド)              | 6        |
| Release (リリース)                     | 6        |
| Mod Source (モジュレーション・ソース)          | 6        |
| 2.6 エクスパンション・パネル                   | 7        |
| Input (インプット：入力ゲイン)                | 7        |
| Sync (シンク：同期)                      | 7        |
| Retrig (リトリガー)                     | 7        |
| Age (エイジ)                          | 7        |
| Feedback (フィードバック)                 | 7        |
| Side Chain (サイドチェイン)               | 7        |
| Output (アウトプット：出力ゲイン)              | 7        |
| 2.7 プリセット・バー                       | 8        |
| Load/Save (読み込み/保存)                | 8        |
| Compare (比較)                       | 8        |
| Info (インフォ)                        | 8        |
| Mode (モード)                         | 8        |
| <b>3 おわりに</b>                      | <b>9</b> |

# 1 はじめに

---



## 1.1 この製品について

---

Instant Phaser Mk II プラグインを皆さんに紹介できることを喜ばしく思っています。この最新バージョンでは、私たちの社名が Eventide Clockworks だった頃にリリースした、Instant Phaser ハードウェアの見た目とサウンドをより忠実に再現しています。Eventide Clockworks の Instant Phaser は、世界で最初に流通したプロフェッショナル・レコーディング機器のひとつでした。40 年以上という長い年月を経て、Eventide はこうした革新的な製品と共に業界をリードする企業になりました。そして、これらの製品が今も必要とされていることを誇りに思っています。

Instant Phaser Mk II をご購入いただき有難うございました。お忘れにならないうちにオンラインでの登録を宜しくお願いします。製品のご登録を済ませたユーザーの皆さんには、ソフトウェアのアップデートやセールなどとお知らせをお送りさせて頂いております。

## 1.2 このマニュアルについて

---

このマニュアルを読まなくても、皆さんが Eventide のプラグインを使用できると思いますが、一度はマニュアルに目を通すことをお勧めします。Instant Phaser Mk II には、ざっと見ただけでは分からない、独特な機能やオプションがあります。このマニュアルでは、それら全てを網羅しつつ、ヒントなども皆さんに紹介していきます。

お使いのホストアプリケーションやコンピュータの環境に関しては、それぞれのマニュアルやオンライン・ヘルプに皆さんが知りたい答えが書いてあるはずですので、ここでは触れません。また、主要なホストアプリケーションで Instant Phaser Mk II を使用する際の、基本的な操作や機能は統一するよう努めました。

このマニュアルに記載されていない内容についての質問は、Eventide のウェブサイト ([www.eventideaudio.com](http://www.eventideaudio.com))にあるサポート・フォーラムをご覧ください。

Instant Phaser Mk II の主な機能：

- ・ Eventide Clockworks 時代のハードウェア、Instant Phaser を忠実に再現。
- ・ 4つのモジュレーション・ソース：Envelope Follower、Oscillator、Manual、Remote。
- ・ エクスパンション・パネルに追加された操作項目で Instant Phaser の機能を強化。
- ・ Age ノブで、Instant Phaser 内部にある部品の経年劣化をシミュレート。

## 2 Instant Phaser Mk II について

---

### 2.1 Instant Phaser

---

1971 年にリリースされた Eventide Clockworks の Instant Phaser は、設定に面倒な作業と高額なコストが必要となるアナログテープのフランジング効果を再現するために開発されました。当時、フランジング効果に必要な遅延時間を作り出す部品はとてつもなく高額でした。そこで Instant Phaser では、連結した複数の位相シフト回路を採用しました。位相シフト回路によって作り出される位相シフトによって、電氣的なコントロールが可能となり、遅延時間を変化させる効果に似た方法で、周波数スペクトルで生成されたノッチフィルタ状のディップを移動することができるようになりました。位相シフト回路によるエフェクトはテープ・フランジング効果に近づいたとは言え、全く同じではありませんでした。このテクニックは現在、多くのミュージシャンたちの間でフェイジング（またはフェイザー）と呼ばれるエフェクトとして広く知られています。

### 2.2 フェイジングとは

---

アナログ/デジタル共に、フェイジングの基本となるのがオールパスフィルタと呼ばれるフィルタです。ご想像の通り、オールパスフィルタは全ての周波数の信号を通過させるので、その名が付けられているのですが、周波数によって位相を変化させることができます。単一のオールパスフィルタにおける位相変動は最大 180 度となります。このフィルタの入力信号を 1:1 の比率で出力信号に追加すると、位相シフトがゼロに近い周波数で補強され、180 度に近い場合はキャンセルされます。

出力の周波数スペクトルでノッチフィルタ状のディップを生成するには、複数のオールパスフィルタを連結させる必要があります。このような位相シフト回路では、オールパスフィルタの半分の数がディップの数となります。Eventide Clockworks の Instant Phaser には 8 つのオールパスフィルタが装備されています。したがって、出力で 4 つのディップを生成します。

## 2.3 単なるフェイザーではありません

---

Eventide Clockworks の Instant Phaser、そして Instant Phaser Mk II プラグインには、他のフェイザーにはないユニークな機能があります。また、Instant Phaser Mk II プラグインには、他のプラグインにはないパラメータを追加しました。これらの機能については、次のセクションで詳しく解説します。

### Depth（デプス）は Mix（ミックス）です！

多くのモジュレーション・エフェクトはミックスのコントロールが可能です。実際、ミックスのコントロールなしでは、殆どのモジュレーション・エフェクトが成り立ちません。定義上、これらのエフェクトはドライな入力信号と「処理が施された信号」を組み合わせることによって作り出されます。この「処理が施された信号」とは、位相シフト回路によって位相が変化した信号、あるいはデジタルディレイやバケットブリケードデバイスなどによって遅延された信号になります。Instant Phaser にもミックス・ノブがありますが、「Mix」ではなく「Depth」という名前が付けられています。Depth が 0% の時、出力信号は位相シフトされた信号ですので、わずかなでチューニング効果が得られます。一方で Depth が 100% の時には、ドライ信号とウェット信号が均等にミックスされるため、完全なフェイジング・エフェクトを得ることができるのです。

なぜ「Depth」（深さ）と呼ぶのでしょうか？遅延された信号にドライ信号を足していくと出力スペクトルにノッチフィルタ状のディップが生成され、2 つの信号の振幅が近づくにつれてディップが深くなっていくからです。つまり「Depth」は、このディップの深さをコントロールするノブになるのです。

### ステレオライザー

Eventide Clockworks の Instant Phaser には、Main と Aux という 2 つの出力がありました。これらの出力は互いに異なり、一方が 2 つの位相シフト回路を追加で受け取るようになっています。その結果、Aux 出力は出力スペクトルにてノッチフィルタ状のディップが 1 つ少ない状態になり、Main 出力との位相が不一致になると考えられます。そして Main 出力が左チャンネルに送信され、Aux 出力が右チャンネルに送信されるように設定された場合、ステレオ効果が作り出されます。このステレオ効果は、出力信号がステレオ音場を移動しているかのように、あるいはステレオ音場が広くなったり狭まったりするように聞こえる場合もあります。プラグインで使用される出力パスは、Mode で設定することができます。

### モジュレーション・ソース

LF0 によってのみ制御される殆どのフェイザーとは異なり、Instant Phaser では 4 つの異なるモジュレーション・ソースへのアクセスが可能です。

- ・ Manual（マニュアル） - インターフェイス中央にある大きなノブを使って、手動でフェイジングのコントロールができます。
- ・ Oscillator（オシレータ） - 古典的な LF0 を用いてフェイジングのコントロールができます。

- ・ Envelope（エンベロープ） - Threshold と Release を調節しながら、入力信号のレベルでフェイジングのコントロールができます。また、Envelope コントロールの下にある SIDE CHAIN スイッチをオンにすると、サイドチェーン入力を ENVELOPE FOLLOWER にルーティングすることが可能になります。
- ・ Remote（リモート） - オリジナルのハードウェアにはリモート信号の為に 1/4 インチ・ジャックがありました。プラグイン・バージョンでは、MIDI（モジュレーション・ホイール）でフェイジングのコントロールをすることができます。

## AGE（エイジ）

全てのものには経年劣化が付きものです。こればかりはどうすることもできません。電気部品もまた然りです。Instant Phaser のモデリング中、私たちは経年劣化した部品から特定の「副次的な現象」を発見しました。それは意図したものではありませんでしたが、モデリングしていた個体のサウンドに影響を与えていたのです。この現象について、こんな極端な例を考えてしまうのは当然のことです。「更に 100 年後にはどんなサウンドになるのだろうか？」この疑問から AGE ノブが生まれました。AGE が 0% の時には 1972 年の工場出荷時のサウンドを再現し、25% の時には数十年ほど経過した現在のサウンドを再現します。さて、100% の時はと言いますと…。エイジングで本来の性能が発揮されるなどと言われますが、それはある一定の期間だけです。いずれにせよ、AGE ノブは Instant Phaser で使用された電気部品における経年劣化の度合いをコントロールすることができます。

## 2.4 操作の概要

---

このプラグインの操作は簡単で直観的です。ノブはクリック & 上下ドラッグで調節し、スイッチやボタンはワンクリックでオン/オフの切替えをします。コマンドキー (macOS) やコントロールキー (Windows) を押しながらノブを上下ドラッグすると、ノブがゆっくりと動き細かな調節が可能になります。パラメータ値はノブの上に表示されます。Option キー (macOS) / Alt キー (Windows)、またはダブルクリックでパラメータ値を初期設定に戻すことができます。

Instant Phaser Mk II の操作項目は、メイン・パネル、エクスパンション・パネル、そしてプリセット・バーの 3 つのセクションに分かれています。

## 2.5 メイン・パネル



### In/Out (イン/アウト)

In にするとエフェクトがオンになります。Out にするとバイパスになります。

### Depth (デプス)

ウェット/ドライ信号のミックス具合をコントロールします。0%の時には位相シフトされた信号が出力されます。100%の時には位相シフトされた信号に入力信号がミックスされます。位相シフトの状態によっては、特定の周波数でゲインが 6dB まで上がる場合があります。

### Remote (リモート)

モジュレーション・ホイール (MIDI CC1) で位相シフトをコントロールするには、REMOTE を ON にして、モジュレーション・ソースを Remote に切り替えてください。

### Oscillator (オシレータ)

Oscillator は LFO の Rate (周期速度) をコントロールします。Sync スイッチがオンの時には、16 bars から 1/64th note までの調節ができ、オフの時には 0.01Hz から 20Hz までの調節が可能になります。

### Manual Knob (マニュアル・ノブ)

フェイジングを手動でコントロールします。0%方向に回すと周波数スペクトラム上に生成されたノッチフィルタ状のディップが高周波数寄りに移動し、100%方向に回すと低周波数寄りに移動します。

### Threshold (スレッシュールド)

Envelope Follower のスレッシュールドを-30dB から-0dB までの範囲で調節します。入力信号のスレッシュールド・レベルは、位相シフトに最大の変化を与えます。

### Release (リリース)

Envelope Follower のリリースタイムを 10 ミリ秒から 10 秒までの範囲で調節します。

### Mod Source (モジュレーション・ソース)

Mod Source ノブは、位相シフトを変化させるための制御信号を設定します。選択肢は、Manual、Oscillator、Remote、そして Envelope Follower となります。



## 2.6 エクスパンション・パネル



### Input（インプット：入力ゲイン）

入力信号のゲインを-60dB から+12dB までの範囲で調節します。

### Sync（シンク：同期）

このスイッチをオンにすると LF0 とセッションのテンポを同期することができ、Oscillator の Rate（周期速度）を 16 bars から 1/64th note までの調節が可能になります。

### Retrig（リトリガー）

LF0 を再度トリガーすることで、開始値に戻すことができます。通常、フェイザーの LF0 は自走しているため、プレイバック毎に同じ LF0 のフェイジングにしたい時に便利な機能になります。

### Age（エイジ）

オリジナルの Instant Phaser を構成する電気部品の経年劣化具合をコントロールします。0% で 1971 年発売当時のサウンド、25% で現在の状態のサウンド、そして 100% で非常に古くなった Instant Phaser のサウンドを再現することができます。

### Feedback（フィードバック）

位相シフト回路のフィードバックをコントロールします。100% にすることで、最大値の出力信号を位相シフト回路に戻します。

### Side Chain（サイドチェイン）

このスイッチがオンの時、Envelope Follower への入力をサイドチェイン入力に切り替えて、別トラックからの信号を用いて位相シフトのコントロールを可能にします。

### Output（アウトプット：出力ゲイン）

出力信号のゲインを-60dB から+12dB までの範囲で調節します。

## 2.7 プリセット・バー



Instant Phaser Mk II がインストールされる時、プリセットのフォルダは以下の場所に設定されます。  
<ユーザー名>/Documents/Eventide/Instant Phaser Mk II/Presets folder.  
プリセットのファイル拡張子は “.tide” になります。これらのプリセットは、お使いの DAW 上で Instant Phaser Mk II のプリセット・バーから保存 (SAVE) と読み込み (LOAD) ができます。

多くの DAW では独自のプリセット・バーから Eventide とは別のフォルダにプリセットを保存することも可能ですが、どの DAW からでも保存したプリセットにアクセスするには、Eventide 製品のプリセット・バーで保存をすることをお勧めします。また、Instant Phaser Mk II のプリセット・フォルダにサブフォルダを作成することもできます。

### Load/Save (読み込み/保存)

これらのボタンをクリックして、“.tide” フォーマットのプリセットを読み込み (LOAD) / 保存 (SAVE) をします。

### Compare (比較)

このボタンをクリックすることで 2 つの異なる設定を切り替えることができます。A/B 比較をする時に便利な機能です。

### Info (インフォ)

プリセット・バーからワンクリックで、このマニュアル（英語版）をお使いの PDF ブラウザで開くことができます。

### Mode (モード)

2.3 の項目で触れたように、Eventide Clockworks の Instant Phaser には 2 つの出力 (Main と Aux) があります。Instant Phaser Mk II プラグインの Mode では、どの出力を使用するかを切り替えることができます。それぞれのモードでサウンドが劇的に変化します。ステレオ・バージョンには Shallow、Deep、Wide の 3 つのオプションがありますが、モノラル・バージョンでは Shallow と Deep の 2 種類になります。

Shallow (シャロウ) : 実機では 6 つの位相シフト回路を持つ Aux 出力のサウンドを再現。

Deep (ディープ) : 実機では 8 つの位相シフト回路を持つ Main 出力のサウンドを再現。  
より深いフェイジングになります。

Wide (ワイド) : Main 出力を左チャンネルに、Aux 出力を右チャンネルにルーティングしたサウンドを再現。左右チャンネルで位相シフト回路の数が異なるため、広がりのあるサウンドになります。

### 3 おわりに

---

Instant Phaser Mk II プラグインをお楽しみいただくこと、そして皆さんの作品のお役に立てることを願っています。また、Eventide には他にもユニークで興味深いエフェクト・プラグインが沢山ありますので、それらもチェックしてみてください。